



カラカラ

東村文化・スポーツ記念館

2025

5/24^土

宮平貴子さんによる映画の裏話、
まるた娘の泡盛づくりのこだわりが聴けます！

まるた娘が
スポキネに！

上映会 & トークセッション

1回目

映画上映 14:00～15:45

トークセッション 15:45～16:15

2回目

映画上映 17:00～18:45

トークセッション 18:45～19:30

交流会 19:30～20:30

閉館 21:00

関連イベント

・かねやん食堂おつまみペアリング

※ノンアル、ビバレッジあり



・菓子屋OSSAの泡盛チョコレートケーキ／その他スイーツ

やんばる酒造株式会社

・泡盛「香り比べ」「度数当て」体験あり！ ・物販コーナーあり！

※飲食、体験コーナーは別料金です。

この機会に普段は飲めないような23年
もののコース44度とペアリング



※飲酒される方へ大切なお願い

本イベントでは、やんばる酒造の泡盛をお楽しみいただけますが、飲酒運転は法律で禁止されています。お酒を飲まれる方は、必ずご自身でハンドルキーパー（運転担当者）を確保するか、タクシー・代行運転をご利用ください。当館近くの宿泊施設「つつじエコーパーク」、「ヤンバルエクスペリエンス ホテル ヌンガニク」もございます。この機会にぜひご利用ください。

運行サービス「notteco やんばる東村」 ☎ 050-5835-2083 🚗

料金システム

距離料金 初乗り 1 km 300 円、100m ごとに 20 円加算

迎車料金 200 円（指定場所へのお迎え） ※前日までの予約がおすすめ

お問合せ 東村文化・スポーツ記念館
☎ 0980-43-2500



InstagramのDMからも予約可能です。

ご予約フォーム

ご予約はこちら▶



紺碧の海と熱帯の木々、
芭蕉布が織りなす大人の色。
泡盛の器カラカラが
ピエールと純子の旅を満たしてゆく。
人生に迷う大人たちの
心を満たすロードムービー。

2012年モントリオール世界映画祭
世界に開かれた視点賞・観客賞
ダブル受賞

カラカラ



KARA
KARA

ガブリエル・アルカン クロード・ガニオン監督作品 工藤夕貴

心がちょっと疲れたら、
大人の家出も悪くない。

2025 5/24^土 東村文化・スポーツ記念館

上映料金 (18歳以上) 1,000 円 (税込) ※スポキネ 入館料含む

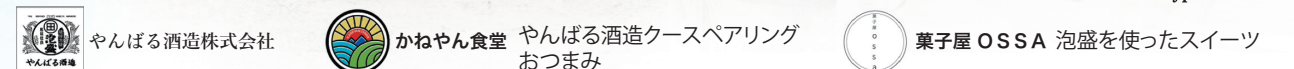
※本イベントは泡盛と映画を楽しむ企画のため、推奨年齢は18歳以上です。

※専用フォームまたはお電話にてご予約ください。

出演:ガブリエル・アルカン、工藤夕貴、富田めぐみ、あつたゆういち、諸見敏、ジョン・ボッター、奥田天濤、一瀬隆之、平良美恵子、平良敏子（特別出演）
監督・脚本:クロード・ガニオン プロデューサー:宮平貴子、サミュエル・ガニオン エグゼクティブプロデューサー:ユリ・ヨシムラ・ガニオン 撮影監督:ミシェル・サン＝マルタン 照明:金城基史 特機:島越博文 録音:横澤匡広 音響:ルイ・コリン
整音:グビン・フェルナンデス 美術・装飾:濱田智有希 衣裳:荒井ゆう子 ヘアメイク:友寄みずの 助監督:丹野雅仁 プロダクション・マネージャー:島越一枝 制作担当:尾崎佐織 スチール:丑番直子 音楽:新良 幸人 テーマソング:トゥミドリ（サキシマミレーティング）
製作:「カラカラ」製作委員会（琉球新報社、ラジオ沖縄、ククルビジョン） 制作:ククルビジョン、スノフィルムズ 特別協力:伊平屋村、(財)OCVB沖縄フィルムオフィス(JFC)
製作協力:沖縄文化等コンテンツファンド投資事業有限責任組合、株式会社ジェイシーシー、TELEFILM CANADA, FEDERAL TAX CREDIT, PROVINCIAL TAX CREDIT, MONGREL MEDIA
後援:沖縄県 助成:(財)沖縄観光コンベンションビューロー 配給:ククルビジョン、ビタース・エンド 2012年/日本・カナダ正式共同製作/104分/デジタル/1:1.85/ドルビーSR © 2012 KARAKARA PARTNERS & ZUNO FILMS



www.bitters.co.jp/karakara



モントリオール世界映画祭ダブル受賞！ 世界が認めた、“心満たす”ロードムービーの誕生



モントリオール世界映画祭で、世界に開かれた視点賞・観客賞を見事ダブル受賞した本作は、人生の折り返し地点で迷う大人たちの背中を後押ししてくれる。
気づいたら、空っぽな人生。これが自分の望んでいた生き方なのだろうか？
誰もが直面する悩みを抱える主人公達は、旅に出る。舞台となるのは、沖縄本島と、本島の北に位置する伊是名、伊平屋、具志川の島々。青く透き通った海、どこまでも続く白い砂浜、生命力あふれる草木などの自然美と、カラカラや芭蕉布に象徴される土地固有の豊かな文化が、二人の乾いた心を潤していく。

第二の人生を模索する元大学教授と、家出した主婦。 突然始まった小さな旅は、新たな自分を見つけるための第一歩

元大学教授ピエールは、気功クラス合宿のため沖縄を訪れている。残り一週間、気ままに島を旅するつもりだった彼は、東京からの移住者の主婦・純子に出会い意気投合する。「旅の思い出」で終わるはずだった二人の関係だが、翌日夫と大喧嘩して家出した純子がピエールの旅に同行すると言い出して…。親友を癌で亡くし、第二の人生の岐路に立つピエールと、夫婦生活に疑問を抱き始め、子育てにも悩んでいる純子。沖縄を旅しながら、国籍・年齢、全く違う二人の道中は、価値観のぶつかり合いと静かな内省を繰り返しながら、ゆったりと進んでいく。

工藤夕貴×ガブリエル・アルカン×クロード・ガニオン 日本とカナダの才能のコラボレーション

純子役には、『ヒマラヤ杉に降る雪』といった大作からジム・ジャームッシュ作品まで、国籍を超えて数々の作品で圧倒的な存在感を放つ工藤夕貴。ピエール役には、カナダのアカデミー賞といわれるジニー賞を二度にわたって受賞している名優ガブリエル・アルカン。世界の映画ファンを魅了してきた二人が、円熟した演技で繊細な大人の機微を見せる。
監督は、カナダと日本をベースに意欲作を発表し続ける、クロード・ガニオン。日本人女性の日常を赤裸々に捉えた伝説の『Keiko』(79)でデビューして以来、『ケニー』(87)、『KAMATAKI-窯焚-』(05)などでモントリオール世界映画祭、ベルリン国際映画祭等で数々の受賞歴に輝く。本作では沖縄に対する深い思い入れとともに、誰もが共感せずにはいられない普遍的な人間ドラマを描き、見事モントリオール映画祭でダブル受賞を果たしている。



カラカラ

沖縄独特のお酒「泡盛」を入れる酒器のこと。いくつかの語源があるが、昔は焼いたときに陶器の破片が入り、器が「空」になると、「カラカラ」と音をたてることからその名前がついたと言われている。「満たされたい大人たち」純子とピエールの旅を象徴している。

芭蕉布 (ばしょうふ)

バショウ科の多年草イトバショウから採取した繊維を使って織られた布のこと。映画の中に出演する平良敏子(1920年生まれ)は戦後、絶える寸前だった芭蕉布の復興につくす人間国宝でもある。



Guest Profile ゲストプロフィール

Miyahira Takako
宮平 貴子
(株)ククルビジョン



1979年沖縄県那覇市生まれ。
沖縄国際大学在学時にカナダのクロード・ガニオン監督の『リバイバル・ブルース』でカメラ助手を担当。同監督の『KAMATAKI-窯焚-』でチーフ助監督を担う。共同脚本を担当した『アンを探して』(09)で劇場監督デビュー、同作はシンガポールの新人映画祭(第5回AFFF)で日本人初の最優秀映画賞と最優秀監督賞を受賞。
2011年沖縄に拠点を移し(株)ククルビジョンを設立。
『カラカラ』(12/監督クロード・ガニオン)『百日告別』(14/監督トム・リン)『カタグイ-沖縄に生きる-』(15/監督:ダニエル・ロベス)など海外共同製作のプロデュースに関わる。
2015年製作・監督した短編映画「わたしの宝もの」は第22回京都国際子ども映画祭短編部門でグランプリを受賞。



大宜味村から来ます♪
Ikehara Ayako
池原 あやこ(まるた娘)
やんばる酒造株式会社 代表取締役



沖縄本島最北端のジャングル育ち！
やんばる酒造株式会社、5代目当主(代表取締役)、WEB広報を担当している池原あやこです。泡盛の魅力を楽しく!美味しく!皆さんにお届けしていきますので、どうぞよろしくお願いします。
自然あふれる大宜味村で生まれ育ち、三姉妹の末っ子として自由奔放に過ごしました。小さい頃はよく拾い食いをしていました。
やんばる酒造株式会社 (田嘉里酒造所)は、70年以上の歴史を誇る泡盛酒造所。地元の自然や文化に根ざしながら、長寿の里・大宜味村で「島酒」泡盛を造り続けています。
東京バイオテクノロジー専門学校の醸造発酵コース卒。伝統を守りながらも、新たな技術を取り入れた泡盛造りに挑戦し、泡盛鑑評会金賞&沖縄県知事賞ブレンダー・オブ・ザ・イヤーW受賞! 国内外から高い評価を受けています。

